

付録資料

付表1 協調 ITS サービスの一覧

※サービスの主目的とする大項目は◎、副次的な目的とする大項目は○とする。

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
1	安全運転の支援	気象情報の提供	気象変化に対する速度超過や操作不適當等による事故を予防するなどドライバの安全運転を支援するため、道路及び車両の各種センサにより、気象状況を把握し、運転中のドライバが、雨・霧・雪による視界不良やトンネル出口部での降雪・強風、切土区間出口の強風、ゲリラ豪雨などの進路前方の危険箇所の気象情報を、車載機や情報提供装置により現場到着前に入手可能とする。	◎						
2	安全運転の支援	路面状況情報の提供	路面状況変化に対する速度超過や操作不適當等による事故を予防するなどドライバの安全運転を支援するため、道路及び車両の各種センサにより、路面状況を把握し、運転中のドライバが、危険箇所の路面状況の情報を、車載機や情報提供装置により現場到着前に入手可能とする。	◎						
3	安全運転の支援	道路構造情報等の提供	道路構造変化に対する速度超過や操作不適當等による事故を予防するなどドライバの安全運転を支援するため、道路及び車両の各種センサにより、走行環境を把握し、運転中のドライバが、進路前方の道路線形変化、一方通行や交差点、サグ部の存在など道路構造等に関する情報を、車載機や情報提供装置により現場到着前に入手可能にする。また、事故が多発する地点の情報を、事故多発地点情報やサグ部等の渋滞多発地点情報、主な事故要因情報等として入手可能とする。	◎	○					

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
4	安全運転の支援	前後方向の障害等情報の提供	進路前後方向の車両、歩行者等や障害物の発見の遅れによる事故を予防するなどドライバの安全運転を支援したり、高齢ドライバ・身体障害をもつドライバ等の安全性を向上するため、道路及び車両の各種センサにより、ドライバからは発見が困難な車両の存在、歩行者等や障害物の存在、或いは高齢・障害ドライバの存在を検知し、運転中のドライバが前後方向の障害に対する情報を、車載機や情報提供装置により入手可能とする。また、検知した情報を用いて衝突リスクを予測して、ドライバに対して最適な運転アドバイスを提供する。	◎						
5	安全運転の支援	対向車情報の提供	ドライバの安全運転を支援するため、見通しが利かないカーブなど前方の視野が狭い個所において、対向車の接近情報を、車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎						
6	安全運転の支援	市街地交差点での情報の提供	市街地交差点におけるドライバの安全運転を支援するため、交差部で交差道路を接近してくる車両や歩行者等の存在情報を、車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎						
7	安全運転の支援	高速道路の周辺車両情報の提供	高速道路におけるドライバの安全運転を支援するため、周辺車両の位置・速度等の情報を車載機や情報提供装置により入手可能とする。また、検知した情報を用いて衝突リスクを予測して、ドライバに対して最適な運転アドバイスを提供する。	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
8	安全運転の支援	制限速度情報の提供	単路を走行中の車両の速度超過に起因する事故を防止するため、情報管理者から道路の制限速度情報を収集し、運転中のドライバーが当該道路の制限速度を車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎						
9	安全運転の支援	追越し禁止や車線変更禁止情報の提供	単路を走行中の車両の追越しや進路変更に起因する事故を防止するため、情報管理者から道路の進路変更禁止区間や追越しや追越しのためのはみ出し禁止区間の情報を収集し、運転中のドライバーが当該道路の進路変更や追越し禁止の情報を車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎						
10	安全運転の支援	道路工事情報の提供	道路工事に起因する事故を防止するため、情報管理者から道路工事箇所や範囲、期間などの情報を収集し、運転中のドライバーが周辺の道路工事を車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎						
11	安全運転の支援	維持管理車両位置情報の提供	維持管理車両への追突事故を防止するため、維持管理車両の位置情報を収集し、車車間通信等により、車両側に位置情報を提供することで、同車両に関連した事故を防止する。	◎					○	
12	安全運転の支援	信号灯色情報の提供	前方見通しの悪い区間等での信号機への接近時における安全を確保するため、前方の信号機が存在と現時点または到着予定時点での信号灯色等の情報を、走行中の車線もしくは対象車両の特性に応じて、車載機や情報提供装置により入手可能とする。	◎	○					

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
13	安全運転の支援	優先車両通行情報提供	スクールバスや介護バスなど乗降のために停止する場合など周囲の車両へ通知し、安全性、円滑性を確保するため、公共性の高い特定車両が周囲へ配慮を促すべくイベントを検知した際に周囲の車両へメッセージを伝える。メッセージを受信した車両は進行方向や速度や相対距離などで自車両との関連を判断し必要な場合、情報提供を行う。	◎	○					○
14	安全運転の支援	踏切に関する情報の提供	踏切横断に関する安全を確保するため、踏切の存在や踏切への列車接近情報等を車載機や情報提供装置により提供する。	◎						
15	安全運転の支援	生活道路への車流入・速度抑制	生活道路・スクールゾーンにおける流入車両に起因する事故を防止するため、情報管理者から生活道路・スクールゾーンの箇所や範囲、迂回路などの情報を収集。また、車載センサにより車両の位置を把握し、生活道路・スクールゾーン内を走行している場合は、車載機等により流入・速度抑制を促すとともに、ドライバが迂回路の情報を入手可能とする。	◎						
16	安全運転の支援	道路構造等の危険警告	道路構造変化に対する速度超過や操作不相当等による事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより、進路前方の道路線形や路面状況などに関する情報を収集し、危険と判断した場合には、車載機等により警告する。	◎						
17	安全運転の支援	前後方向の車両の危険警告	追突事故や正面衝突事故を未然に防ぐため、道路及び車両の各種センサにより、車両位置、車間距離、走行速度の情報等を収集し、危険と判断した場合や一定以上の速度超過等により安全を維持できない場合には、車載機等によりドライバに警告するとともに周辺車両にも警告する。	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
18	安全運転の支援	歩行者、障害物の危険警告	歩行者、障害物との衝突事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより進路前方を監視し、危険と判断した場合には、車載機等により警告する。	◎						
19	安全運転の支援	車線変更の危険警告	車線変更時の事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより周辺を走行する車両の車両位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、車線変更時に接触の危険が高いと判断した場合にはドライバに警告する。	◎						
20	安全運転の支援	車線逸脱警告	車線を外れて歩行者や沿道施設、並走車との接触事故、横転事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより周辺を走行する車両の車両位置、車間距離、挙動等の情報を収集し、車線内での極端な片寄り、車線逸脱を検知した場合や車線走行違反等の場合には、ドライバに警告する。	◎						
21	安全運転の支援	交差点危険警告	交差点での車両同士の衝突事故、歩行者等の巻き込み事故等を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより車両・歩行者・自転車等の位置、速度、挙動に関する情報を収集し、接触の危険が高いと判断した場合等には、ドライバに警告する。	◎						
22	安全運転の支援	分合流部における道路施設の危険警告	高速道路等での分流・合流時の道路施設との衝突事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより道路施設や周辺車両との位置や速度を監視し、接触の危険が高い場合にはドライバに警告する。	◎						
23	安全運転の支援	分合流部の周辺車両の存在の危険警告	高速道路等での分流・合流時の車両相互の衝突事故を未然に防ぐため、本線を走行する車両のドライバに合流車両の存在を知らせる。	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
24	安全運転の支援	周辺車両に対する危険警告	車両異常が発生した場合の交通の安全性を確保するため、車両故障や火災、発病や覚醒不可能な居眠り運転等のドライバの異常等の情報を周辺車両に提供する。	◎						
25	安全運転の支援	単路における二輪車の存在の警告	単路走行中の車両の二輪車との衝突事故を防止するため、路側センサや車載センサにより周辺を走行する二輪車の位置を把握し、二輪車と衝突の可能性がある場合、車載機等によりドライバに警告する。	◎						
26	安全運転の支援	交差点における二輪車の存在の警告	交差点、T字路等で右左折をしようとする車両の二輪車との衝突事故を防止するため、路側センサや車載センサにより交差点内の二輪車の位置を把握し、ドライバが交差点やT字で左折時に、二輪車と衝突の可能性がある場合は車載機等によりドライバに警告する。右折しようとした際、対向の二輪車と衝突の可能性がある場合は車載機等によりドライバに警告する。	◎						
27	安全運転の支援	速度超過の警告	単路を走行中の車両の速度超過に起因する事故を防止するため、情報管理者から制限速度情報を収集。また、車載センサによりドライバの走行速度を把握し、速度超過の可能性がある場合は、車載機等によりドライバに警告する。	◎						
28	安全運転の支援	追越し禁止や車線変更禁止の警告	単路を走行中の車両の追越しや進路変更に起因する事故を防止するため、情報管理者から道路の進路変更禁止区間や追越しや追越しのためのはみ出し禁止区間の情報を収集。また、車載センサにより車両の走行位置や白線を検知し、無理な追越しや進路変更の可能性がある場合は、車載機等によりドライバに警告する。	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
29	安全運転の支援	自動車への交通弱者接近時の情報提供	歩行者との衝突事故を未然に防ぐため、歩行者端末の各種センサーにより歩行者進路を監視し、危険と判断した場合には、車載機等により情報提供する。	◎						
30	安全運転の支援	電動カート、その他の運行情報	左記乗り物の周囲の運行や交差点通過などを周囲へ報知し、周辺車両のさらなる安全走行を促すため、周囲への配慮を希望する当該車両が、横断歩道横断時など一般車両との共有すべき情報がある場合にはメッセージを周囲の車両へ伝える。	◎						
31	安全運転の支援	緊急ブレーキ情報通報	高速道路などにおいて強いブレーキを周囲に通知し、後続車両へ追突回避などの注意を促すため、ブレーキ状態を自車両で監視し、緊急ブレーキと判断された場合には周囲の車両へメッセージを伝える。メッセージを受信した車両は進行方向や速度や相対距離などで自車両との関連を判断し必要な場合、警報を発する。	◎						
32	安全運転の支援	事故発生時の周辺車両への発信	事故発生時の後続車両による追突事故等を防止し安全性の向上を図るため、事故車両から周辺車両に走行注意の情報を自動的に発信する。	◎						
33	安全運転の支援	道路構造等の危険性に対する運転補助	道路構造変化に対する速度超過や操作不相当等による事故を未然に防ぐため、道路および車両の各種センサにより進路前方の道路線形や路面状況などに関する情報を収集し、危険と判断した場合には、ブレーキ操作等の車両制御を行う。	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
34	安全運転の支援	車線逸脱防止の運転補助	車線を外れて歩行者や沿道施設、並走車との接触事故を防止するため、道路および車両の各種センサにより周辺を走行する車両の位置、速度、挙動の情報を収集し、車線内での極端な片寄り、車線逸脱を検知し、危険と判断した場合には、自動的に車線保持、車線変更等のハンドル操作等の制御を行う。	◎						
35	安全運転の支援	分合流部の運転補助	高速道路等での分流・合流時の道路施設との衝突事故、車両相互の衝突事故を防止するため、道路および車両の各種センサにより道路施設や周辺車両との位置や速度を監視し、接触の危険が高いと判断した場合には、ブレーキ、ハンドル操作等の制御を行う。	◎						
36	安全運転の支援	前後方向の車両の危険性に対する運転補助	追突事故を未然に防ぐため、道路及び車両の各種センサで車両位置、車間距離、走行速度等の情報を収集し、危険と判断した場合には、ブレーキ操作等の車両制御を行う。	◎						
37	安全運転の支援	車両等との連携による歩行者等の安全確保	歩行者、障害物との衝突事故を防止するため、道路および車両の各種センサにより進路前方を監視し、危険と判断した場合には、ブレーキ操作等の車両制御を行う。	◎						
38	安全運転の支援	緊急情報の一斉通知	多重事故を防止するため、災害や交通事故が発生したとき、一定区間内の後続車両に一斉に事故発生情報を提供し、危険な場合には、ドライバーに注意を喚起するとともに緊急停止を行う。	◎				○		

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
39	安全運転の支援	車線変更時の運転補助	車線変更時の安全性を高めるため、道路および車両の各種センサにより周辺を走行する車両の位置、速度、挙動に関する情報を収集し、車線変更時に接触の危険が高いと判断した場合には、自動的に車線保持、車線変更等のハンドル操作等の制御を行う。	◎						
40	安全運転の支援	交差点での運転補助	交差点での車両同士の衝突事故、歩行者・自転車の巻き込み事故を防止するため、道路および車両の各種センサにより車両・歩行者・自転車等の位置、速度、挙動に関する情報を収集し、接触の危険が高いと判断した場合には、ブレーキ、ハンドル操作等の制御を行う。	◎						
41	安全運転の支援	ドライバ異常に関する運転補助	発病や覚醒不可能な居眠り運転などのドライバ異常時の事故を未然に防ぐため、車両の各種センサにより、ドライバの異常を発見し、車両を自動的に安全に停止する。	◎						
42	安全運転の支援	自動車専用道路等の自動運転	ドライバの負荷を軽減し、交通事故の危険性を限りなく低減するため、自動車専用道路等において道路および車両の各種センサにより、道路構造や周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、自動運転を行う。	◎			○			
43	安全運転の支援	渋滞時自動運転	渋滞中の煩雑な運転操作を軽減し追突事故を防止するため、道路および車両の各種センサにより、道路構造や周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、低速走行時の自動運転を行う。	◎			○			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
44	安全運転の支援	長大トンネル内の自動運転	長大トンネル内走行の安全性、快適性を向上させるため、道路および車両の各種センサにより、道路構造や周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、長大トンネル内での自動運転を行う。	◎			○			
45	安全運転の支援	清掃車等の自動運転	路面清掃作業の安全性と効率性を高めるため、道路および車両の各種センサにより、道路構造や駐車車両の有無、周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、清掃車等の道路管理用車両の自動運転を行う。	◎					○	
46	安全運転の支援	除雪車の自動運転	路面除雪作業の効率化のため、道路および車両の各種センサーにより、積雪状況、道路構造、周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、除雪車の自動運転を行う。	◎					○	
47	安全運転の支援	ドライバ異常時自動運転	発病や覚醒不可能な居眠り運転などのドライバ異常時の事故を未然に防ぐため、車両の各種センサにより、ドライバの異常を発見し、道路および車両の各種センサにより、道路構造や周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、自動運転を行う。	◎						
48	安全運転の支援	歩行者用の信号の待ち時間・信号灯色情報の提供	高齢者・障害者等の交通弱者をはじめ歩行者等が安心して利用できる安全で快適な道路環境の形成を図るため、信号の待ち時間情報、信号灯色情報を提供する。	◎			○			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
49	安全運転の支援	歩行者用の青信号時間の延長	高齢者・障害者等の交通弱者をはじめ歩行者等が安心して利用できる安全で快適な道路環境の形成を図るため、交差点内に歩行者が存在する場合や、歩行者からの要求に応じて、歩行者用青信号時間の延長を行う。	◎			○			
50	安全運転の支援	歩行者等への自動車接近時の警告	細街路や見通しの悪い交差点を移動中の歩行者等の安全を確保するため、車両が一定以上に接近した場合、歩行者等が危険情報を入手することを可能とする。	◎						
51	安全運転の支援	歩行者等に対する車両速度の抑制	細街路や商店街のように歩行者等と車両が混在する空間を移動中の歩行者等の安全性を確保するため、車両前方の歩行者等を検知し、衝突の危険が予測される場合にはドライバーへの警告や自動的な速度制御、ブレーキ制御等を行う。	◎			○			
52	安全運転の支援	踏切における列車接近情報の提供	踏切を横断しようとする歩行者等の安全を確保するため、踏切への列車接近情報、踏切を横断するのに必要となる横断必要時間、列車が踏切を通過する予想踏切通過時間等の情報を携帯端末機や情報提供装置により適切に入手可能とする。	◎						
53	安全運転の支援	車椅子利用者への経路誘導	車椅子利用者の安全かつ円滑な移動を支援するため、携帯端末機等により、車椅子が通行可能な経路への誘導を行う。	◎	○		○			
54	安全運転の支援	メンテナンス情報の提供	車両故障に起因する事故を防ぐため、定期的に CAN から車両の故障状況を把握しセンタ側で管理、故障が発見された場合や定期検査、消耗品の交換のタイミングで車載機によりドライバーに通知する。	◎						○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
55	交通流の円滑化	最適経路情報の提供	移動中のドライバーの経路選択に関する利便性の向上を図るため、目的地や経路に関する高速道路の利用・非利用等の条件に応じ、現在及び将来の交通状況等をふまえた最適経路とその所要時間、料金等の情報を、オンデマンドに対応したナビゲーションシステムにより入手可能とする。		◎	○	○			
56	交通流の円滑化	道路交通情報の提供	移動中のドライバー経路選択の情報面での利便性の向上を図るため、車両の現在位置情報及び各経路の所要時間、交通規制、可変標識情報も含んだ各種標識に係わる情報等をオンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		◎	○	○			
57	交通流の円滑化	渋滞時の所要時間情報等の提供	渋滞に巻き込まれた移動中のドライバーの渋滞情報収集面での利便性の向上を図るため、遭遇した渋滞の原因、渋滞の先頭地点、渋滞を抜けるまでの所要時間、渋滞区間の延長、通過平均速度、目的地方向の渋滞等を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		◎	○	○			
58	交通流の円滑化	選択した経路への確実な誘導	不慣れな道路を移動中のドライバーの経路選択に関する利便性の向上を図るため、分岐点に接近したときは分岐の予告案内、分岐点直前では走行すべき車線、分岐点の道路構造、周辺の目安になる建物等の情報を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		◎	○	○			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理							
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援	
59	交通流の円滑化	他機関の運行状況情報の提供	移動中のドライバーの他の交通機関へ乗り継ぎを支援し、複数の交通機関の適切な利用分担を図るため、鉄道や航空機、フェリー、バス等の運行状況情報や利用可能情報等を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		◎	○					○
60	交通流の円滑化	最適経路情報の事前提供	移動計画を立案しようとするドライバーの利便性の向上を図るため、出発前の家庭やオフィス等において、行動日時や目的地、高速道路の利用・非利用等の条件に応じ、将来の交通状況等をふまえ、最適経路とその所要時間、料金等の情報を、オンデマンド等により事前に入手可能とする。		◎	○	○				
61	交通流の円滑化	道路交通情報の事前提供	移動計画を立案しようとするドライバーの利便性の向上を図るため、出発前の家庭やオフィス等において、各経路の所要時間、交通規制の状況、凍結や積雪等の情報をオンデマンド等により事前に入手可能とする。		◎	○	○				
62	交通流の円滑化	交差点信号制御	交差点における歩行者・車両等の通行の安全と円滑化の確保のために、道路ネットワーク全体の系統を乱さずに、交差点毎にきめ細かく青時間を有効に活用する制御を行うとともに事故の発生可能性を減少させるように制御する。また、交差点で公共車両を優先して通行させる、高齢者、身体障害を持つ運転者等の安全性を向上させるために、交差点手前において、行き先に応じた円滑な通過を可能とする信号制御を行う。	○	◎						
63	交通流の円滑化	幹線道路信号制御	幹線道路における交通の安全と円滑化のために、交通需要に基づく高度な系統信号制御を行う。	○	◎						

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
64	交通流の円滑化	地域信号制御	地域全体の交通の安全と円滑化を実現するために、狭域通信等で収集される OD 情報と画像処理装置等を通じて正確に交通需要を計測し、交通状態に応じた適切な制御方策に基づく信号制御を行う。	○	◎					
65	交通流の円滑化	車線対応制御	交通需要を適切に配分するために、それぞれの車線毎に車両が通行すべき車線を信号灯器・標識等を用いて指示する。また、狭域通信等により車線指示情報をドライバに提供する。		◎	○				
66	交通流の円滑化	交通管理ニーズに基づく経路誘導	各車線毎に、かつ各車両毎に、それぞれの目的地・走行上の条件等を考慮し、かつ、地域に適正に交通流を配分するため、騒音・公害等の状況、臨時に行う交通規制等の交通管理上のニーズにより、狭域通信等を用いて当該車両にとって最適な走行車線、直進右左折等の走行方向を指示する。		◎	○				
67	交通流の円滑化	HOV レーンの導入	都市部における道路の効率的な利用を図るため、道路管理者が HOV レーンを設置し、設置箇所や区間などの情報を整備。車載センサや路側センサにより、乗車人数を把握し、HOV レーンの走行条件を満たした車両のみ通行を許可する。		◎	○			○	
68	交通流の円滑化	低炭素社会(省エネ)を実現する協調走行支援	エコドライブの実現・円滑な交通流の生成により、渋滞軽減および CO2 削減を実現するため、周辺車両の走行情報(位置、速度など)から、サグ部などの渋滞多発地点の情報など、交通流の円滑化・エコドライブに資する各走行支援情報をドライバ(個人/法人)に対して提供する。		◎	○				○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
69	交通流の円滑化	渋滞時の車線誘導情報の提供	安全と交通円滑のため、一般道では、右折渋滞、駐車場渋滞等の情報を、高速では出口渋滞の情報を自車が検知し後方車両に提供する。または、これらの渋滞情報を通行予定ルートを登録した移動中の車両に対して路車間通信、車車間、携帯網等により提供する。	○	◎					
70	交通流の円滑化	グリーンウェーブ	信号による停車発進の回数の削減や発進の遅れ防止による交通流の円滑化を図るため、信号現示の変化のタイミングや、信号現示の変化のタイミングを踏まえた適切な走行速度等を提供する。		◎	○				
71	交通流の円滑化	高速道路上渋滞多発地点(サグ部・トンネル部等)における車線均一化と適正車間時間保持のための運転補助	高速道路等のゆるやかな上り勾配・サグ、トンネル入り口等において、速度低下を防止し渋滞の発生を抑制するため、道路および車両の各種センサ、路車間・車車間通信等を用いて、車両位置、車間時間、走行速度等を観測・共有し、速度の低下や不適切な車間時間が発生する場合には、車間時間、走行速度を制御する。		◎	○				
72	交通流の円滑化	有料道路での自動料金收受	有料道路における料金所渋滞の解消やキャッシュレス化によるドライバの利便性の向上、管理コストの低減を図るため、無線通信を用いて、車種判別や料金計算を行い、料金所で一旦停止することなく自動的に料金の支払いを可能とする。		◎		○		○	
73	環境の改善	省燃費ルート案内・ナビ	移動にかかる燃費を最適化するため、情報管理者から高さ情報を収集、また、交通状況も把握する。これらの情報を踏まえて省燃費ルートを生成、ドライバが省燃費ルートを手入手可能とする。			◎				

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
74	環境の改善	アイドリングストップ支援	移動にかかる燃費を最適化するため、情報管理者より信号現示情報を収集、また、車両の走行位置や速度を検知し、アイドリングストップが必要な場合は、ドライバーが車載機等によりアイドリングストップ情報を入手可能とする。			◎				
75	環境の改善	エコドライブ評価	エコ運転による環境問題の改善のため、ドライバーが移動後に自身の走行履歴、挙動履歴のデータをセンタに送信し、センタにて走行履歴、挙動履歴データを解析し、エコドライブ度を評価した結果をドライバーに提供し、ドライバーのエコ運転意識を向上させる。			◎				
76	環境の改善	EVの蓄電池を活用した電力消費量の最適化	電力需要・供給の最適化を図るため、車載機等にEVの充電状況を記録、住宅や施設の電力状況と充電状況を踏まえてEVの蓄電池を有効利用する。			◎				
77	環境の改善	ドライバー等へのマルチモーダル情報の提供	車以外の公共交通機関の利用によるCO2削減の推進を図るため、ドライバー等に、出発時や目的地までの経路上におけるマルチモーダル情報を提供する。		○	◎	○			
78	環境の改善	車種別車線誘導	車種により走行経路や車線が制限されている場合に、交通に混乱を与えず、道路周辺の住民環境を保護するために、大型車のドライバーに対しては、中央よりの車線を走行するように狭域通信等を通じて誘導したり、一般車両の走行が規制されている車線を走行中のドライバーを所定の走行車線に誘導する。また、制限外積載許可車両については、許可された経路を逸脱しないように狭域通信等を用いて走行経路を誘導する。		○	◎			○	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理							
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援	
79	環境の改善	EV/pHVカーシェアリング	EV と pHV の利用を促進し、CO2 排出量削減等の環境改善を図るため、事業者が EV と pHV のカーシェアリングシステムを構築、携帯端末から EV と pHV を予約可能にするとともに、予約した利用者のみが指定した時間内で EV を利用可能とする。			◎	○				○
80	快適性の向上	移動車両間の経路情報の交換	グループ旅行やレクリエーション活動など複数の車両で行動するドライバの利便性の向上を図るため、共通の経路情報、同じ行動をとる車両の位置等の情報を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムにより提供する。また、車両間で会話や緊急時の連絡ができるサービスを、オンデマンドに対応した情報提供装置により入手可能とする。				◎				
81	快適性の向上	ドライブスルー利便性向上	お客様の利便性向上のため、店舗外にて車載器等を利用して注文を事前登録し、店舗内の入口進入時にお勧めメニューなどの広告を配信、オーダー注文口にて、事前登録されている注文を確認し、決済ブースにてクレジットカードによるキャッシュレス決済する。				◎				○
82	快適性の向上	汎用的な有料道路等の料金決済方法の利用	有料道路等の料金決済の利便性を向上させるため、ICカード化されたクレジットカードや電子マネー等の様々な支払手段に対応した多様な有料道路・公共交通等の料金支払方法を利用可能とする。		○		◎			○	○
83	快適性の向上	多様な形態での領収証の発行	有料道路におけるドライバの料金支払いの事務処理等を効率化するため、利用者の必要に応じて、多様な形態での領収証の受領を可能とする。				◎				○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
84	快適性の向上	目的施設等の詳細情報の事前提供、予約	移動計画を立案しようとするドライバの目的地の選択を支援するため、出発前の家庭やオフィス等において、ホテル、レジャー、スポーツ等の施設等に関する施設・サービス内容、利用料金、混雑状況等の情報を、オンデマンド等により事前に提供するとともに必要に応じ、施設の利用予約を行う。				◎			○
85	快適性の向上	身障者、高齢者、幼児等が利用可能な目的施設情報の事前提供	身障者、高齢者、幼児をつれている等、施設の利用に制約があるドライバの目的地の選択を支援するため、出発前の家庭やオフィス等において、目的施設に関する混雑状況、身障者用トイレ、スロープ等の情報を、オンデマンド等により事前に入手可能とする。				◎			○
86	快適性の向上	目的施設等の詳細情報の提供、予約	移動中のドライバの目的地の選択を支援するため、ホテル、レジャー、スポーツ等の施設等に関する施設・サービス内容、利用料金、混雑状況等の情報を、オンデマンド等に対応した情報提供装置により提供するとともに必要に応じ施設の利用予約を行う。				◎			○
87	快適性の向上	身障者、高齢者、幼児等が利用可能な目的施設情報の提供	身障者、高齢者、幼児をつれている等、施設の利用に制約があるドライバの移動中における目的地の選択を支援するため、目的施設に関する混雑状況、身障者用トイレ、スロープ等の情報を、オンデマンド等に対応した情報提供装置により入手可能とする。				◎			○
88	快適性の向上	特定の地点の気象情報の提供	移動中のドライバの目的地の選択等を支援するため、目的地等の天候、気温、風速等の気象情報を、オンデマンド等に対応した情報提供装置により入手可能とする。	○			◎			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
89	快適性の向上	サービスエリア等での目的施設等の詳細情報の提供、予約	移動中のドライバーの目的地の選択を支援するため、高速道路のサービスエリアやパーキングエリア、一般道路上の道の駅等において、ホテル、レジャー、スポーツ等の施設等に関する利用料金、混雑状況等に関する情報を、オンデマンド等により提供するとともに必要に応じ、施設の利用予約を行う。				◎			○
90	快適性の向上	サービスエリア等での身障者、高齢者、幼児等が利用可能な目的施設情報の提供	身障者、高齢者、幼児をつれている等、施設の利用に制約があるドライバーの目的地の選択を支援するため、高速道路のサービスエリアやパーキングエリア、一般道路上の道の駅等において、目的施設に関する混雑状況、身障者用トイレ、スロープ等の情報を、オンデマンド等により入手可能とする。				◎			○
91	快適性の向上	サービスエリア等での特定の地点の気象情報の提供	移動中のドライバーの目的地の選択等を支援するため、高速道路のサービスエリアやパーキングエリア、一般道路上の道の駅等において、目的地等の天候、気温、風速等の気象情報を、オンデマンド等により入手可能とする。	○			◎			
92	快適性の向上	二輪車の自動料金収受	有料道路における二輪車ドライバーの料金支払い利便性の向上を図るため、無線通信を用いて料金計算を自動的に行い、料金所で一旦停止することなく自動的に料金の支払いを可能とする。		○	○	◎		○	
93	快適性の向上	身障者の有料道路料金収受	有料道路における身障者ドライバーの料金支払い利便性の向上を図るため、無線通信を用いて身障者割引を受けるための証明手続きを自動的に行い、料金所で一旦停止することなく自動的に料金の支払いを可能とする。		○	○	◎		○	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
94	快適性の向上	駐車場の自動料金収受	駐車場の料金収受を迅速化し、ドライバの利便性向上と、駐車場管理者の収受コストの低減を図るため、無線通信を用いて車種を判別し、利用時間等に応じた自動的な料金の支払いを可能とする。				◎		○	○
95	快適性の向上	路上パーキングの自動料金収受	路上パーキングで、ドライバの駐車料金支払いの利便性の向上と、管理者の収受コスト低減を図るため、無線通信を用いて路上駐車を自動的に検知し、利用時間に応じた自動的な料金の支払いを可能とする。				◎			○
96	快適性の向上	フェリー、カートレインの自動料金収受	フェリー、カートレインの利用料金の収受を効率的に行い、利用者の利便性の向上を図るため、無線通信を用いて、車種、車長、乗車人員数等を自動的に判別し、自動的な料金の支払いを可能とする。				◎			○
97	快適性の向上	出発前における公共交通機関情報の提供	公共交通利用者が出発前における移動スケジュール作成の利便性を向上するため、家庭やオフィスの端末により公共交通機関の運行予定、運行状況、公共交通機関間の乗り継ぎ等の情報の提供を行うとともに、徒歩や自動車を含む適切な乗り継ぎ交通手段の組合せの情報を提供する。		○		◎			
98	快適性の向上	移動中における公共交通機関情報の提供	移動中の公共交通利用者の交通機関選択の利便性向上のため、ターミナル、バス停、高速道路のサービスエリア等において、これから利用する公共交通機関の運行状況、発着場所、乗り場までの所要時間等の情報を提供する。		○		◎			
99	快適性の向上	公共交通機関内における他の交通機関情報の提供	移動中の公共交通利用者の乗り継ぎの利便性向上のため、公共交通の車内において、これから利用する公共交通機関の運行予定、運行状況、公共交通機関間の乗り継ぎ等の情報を提供する。		○		◎			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理							
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援	
100	快適性の向上	公共交通機関の事故、遅れ等の情報の提供	事故による遅れ等に際して、公共交通利用者の判断や行動を支援するため、出発前の家庭やオフィスの端末、移動中の公共交通の車内、ターミナル等において、運休や遅れの程度、復旧の見込み、代替交通機関の案内等の情報を提供する。		○		◎				○
101	快適性の向上	デマンドバスの利用支援	デマンドバス利用者の利便性向上のため、家庭やオフィス、ターミナル、高速道路のサービスエリア等において、デマンドバスの運行情報、空き状況、到着予定時刻等の情報や利用予約の受け付け等のサービスを提供する。		○		◎				○
102	快適性の向上	現在位置および施設位置情報の提供	移動中の歩行者等の不安感や時間浪費の解消など利便性の向上を図るため、歩行者等の現在位置、目的施設の位置、トイレや公衆電話の位置等を携帯端末機や情報提供装置により入手可能とする。なお、高齢者や車椅子、ベビーカーを利用する歩行者等は、必要に応じてエレベーターや広幅員歩道等の位置情報を入手することが可能となる。				◎				
103	快適性の向上	目的地までの経路情報の提供	移動中の歩行者等の不安感や時間浪費の解消、利便性の向上を図るため、目的地までの最短経路や経路上の目印となる施設の情報を携帯端末機や情報提供装置により入手可能とする。なお、高齢者や車椅子、ベビーカーを利用する歩行者等は、必要に応じてエレベーターや広幅員歩道等を考慮した経路情報を入手することが可能となる。		○		◎				

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
104	快適性の向上	目的地までの経路誘導	移動中の歩行者等の不安感や時間浪費の解消等、利便性の向上を図るため、携帯端末機や磁気、音声等を用いた誘導を受けることを可能とする。なお、高齢者や車椅子、ベビーカーを利用する歩行者等は、移動路の構造や安全性を特に考慮した誘導を受けることが可能となる。		○		◎			
105	快適性の向上	沿道施設情報の提供	ドライバと同乗者の情報入手面等での利便性の向上と沿道施設利用及び災害対応の効率化を図るため、移動中のドライバと同乗者に対して、オンデマンド等に対応した情報提供装置により、旅行、買物、ニュース、行政サービス、沿道の商業施設等に関する情報、また、防災情報の利用を可能とする。				◎	○	○	○
106	快適性の向上	移動中の情報ネットワークアクセス	ドライバと同乗者の情報入手・情報コミュニケーション等での利便性を向上するため、移動中のドライバや同乗者に対して、オンデマンド等に対応した情報提供装置によりインターネットやパソコン通信等の汎用情報ネットワークへのアクセス手段を利用可能とする。				◎			
107	快適性の向上	移動中の車内バンキングサービスの利用	バンキングの利便性を向上させるため、移動中のドライバや同乗者に対して、オンデマンド等に対応した情報提供装置により振込、振替等を行える車内バンキングサービスを利用可能とする。				◎			○
108	快適性の向上	観光情報の提供	車利用の旅行者や歩行者等へ観光地周辺や自然が優れている地域での快適で効率的な余暇活用時間を創出するため、車載器、携帯端末機等により、観光目的にあった周遊ルート、沿道主要施設、貴重な動植物生息位置等の情報を地図とともに利用可能とする。				◎			○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
109	快適性の向上	PCや携帯端末と車載器との連携	ドライバが車載機・PC・携帯端末間でデータを共有可能とすることで、ドライブ前・ドライブ中の快適性を高めるため、ドライブ中に必要なデータを一箇所で管理しそのデータをドライバがどこからでも常時活用可能とする。				◎			
110	快適性の向上	エンターテインメントコンテンツダウンロード	ドライバがいつでもエンターテインメントコンテンツを入手可能とするため、車載機や情報提供装置により、ドライバがエンターテインメントコンテンツをダウンロード可能とする。				◎			○
111	快適性の向上	地図更新	移動前のドライバ（もしくは同乗者）、移動中のドライバ（もしくは同乗者）が、車内端末を通じて、カーナビ用のデジタル道路地図を最新版になるよう、コンテンツをダウンロードする。もしくは、地図更新可能なスポットにて、自動的に最新地図をダウンロードする。		○		◎			○
112	快適性の向上	充電施設案内	EV ユーザの充電スポット探索や効率的な充電を支援するため、充電施設管理者から充電施設の位置や利用時間、満空情報を収集し、これらの情報と EV ユーザの走行位置を踏まえて、周辺の充電施設情報を、車載機によりドライバに提供する。			○	◎			○
113	快適性の向上	充電状態情報の提供	運転中や出発前のドライバの EV の充電タイミングの判断を支援するため、EV の電力使用状況や電力消費パターンを PC や携帯端末に提供する。			○	◎			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
114	快適性の向上	駐車場の自動運転	駐車場での駐車を安全で省力化したものとするため、自車の位置、周囲の他車、歩行者等を監視しながら、縦列駐車、駐車マスへの駐車の運転操作を自動化する。また、駐車場内という限定された場での自動運転を行い、駐車場からの車両の自動呼び出し等を行う。	○			◎			
115	快適性の向上	駐車場情報の提供	目的地において駐車場を確保しようとする移動中の一般ドライバや身体障害ドライバ等の利便性の向上を図るため、目的地や目的施設等に応じ、利用可能な駐車場に関する営業時間、料金、満空情報等の情報を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		○		◎			
116	快適性の向上	駐車場の予約	目的地に駐車しようとする移動中のドライバの利便性の向上を図るため、車内において、オンデマンドに対応した情報提供装置により駐車場の予約を行う。		○		◎			
117	快適性の向上	駐車場情報の事前提供	目的地および目的地周辺で駐車を計画するドライバの利便性の向上を図るため、出発前の家庭、オフィス等において、目的地や目的施設等に応じ、利用可能な駐車場に関する営業時間、料金、満空情報等の情報をオンデマンド等により事前に入手可能とする。		○		◎			
118	快適性の向上	駐車場の事前予約	目的地および目的地周辺で駐車を計画するドライバの利便性の向上を図るため、出発前の家庭やオフィス等において、オンデマンドにより駐車場の予約を行う。		○		◎			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
119	快適性の向上	自動車関連犯罪多発箇所情報の提供	車上狙いや自動車盗難などの自動車関連犯罪を防ぐため、警察などから車上狙いや自動車盗難などの自動車関連犯罪の多発箇所の情報を収集し、運転中のドライバが周辺の犯罪多発箇所情報を車載機や情報提供装置により入手可能とする。				◎			○
120	快適性の向上	車両状態の通知	車両の盗難を防ぐため、定期的に自車両の状態（エンジンのON/OFF情報、車両位置等）をセンタで把握し、車両状態を通知する。				◎			○
121	緊急時対応	道の駅・SA/PAの活用、帰宅困難者の支援サービス	災害時における帰宅困難者の行動支援に貢献するため、災害発生時、道の駅やSA/PAの備蓄品の状況と該当施設の周辺を走行する車両から収集した走行情報(位置、方向など)から、道の駅やSA/PAへ誘導すべき車両を特定し、誘導するための情報をドライバに提供する。					◎	○	
122	緊急時対応	緊急災害情報提供	災害時におけるドライバの安全確保のため、地震情報（震源地、地震規模、緊急地震速報）、津波情報（到達予測時間、規模、津波警報）、洪水情報、避難情報を収集し、走行中の車両に対して地震、津波等の情報を一斉に提供、また、受信した情報を基に避難先、避難先までのルート等を提供する。	○				◎	○	
123	行政活動支援	救急活動支援情報の利用	救急患者の迅速な搬送・処置を可能にするため、緊急車両において空床情報、担当医の在・不在等の情報を入手する等、救急活動支援情報を利用可能とする。						◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
124	緊急時対応	災害発生時の状況把握支援	災害復旧の効率化を図り安全かつ円滑な道路走行環境を早期に確保し、現地の状況に対応した適切な復旧計画の立案を支援するため、道路の被害状況等に関する情報収集活動を行い、これを対策本部、管理事務所に送信する。	○	○			◎	○	
125	緊急時対応	復興時の道路交通情報の提供	災害復興時において、安全かつ円滑な道路走行環境を確保し、災害復興計画や物資輸送計画の立案を支援するため、災害発生後の地域の交通状況、道路構造物の改修や都市施設の再建工事等に関する情報を統一的に蓄積し、提供を行う。	○	○			◎	○	○
126	緊急時対応	避難場所の案内情報の提供	災害発生時における歩行者等の不安感を解消し、迅速かつ安全な避難を可能とするため、現在位置、避難場所、安全性を考慮した最適な避難経路等の情報を携帯端末機や情報提供装置により入手可能とする。					◎	○	
127	行政活動支援	緊急時における自動通報	移動中に急病、事故、犯罪等の事態に遭遇した歩行者等を速やかに救援し、その安全を確保するため、歩行者等の携帯端末機から自動的または手動により緊急メッセージを家庭や関係機関に通報する。						◎	
128	快適性の向上	高齢者等の現在位置の自動提供	高齢者や障害をもつ歩行者等の緊急時への対応を迅速化し、その安全を確保するため、必要に応じて歩行者等の現在位置を自動的に把握し、家庭等にて情報の入手を可能とする。				◎			
129	緊急時対応	災害、事故時の通報	災害、事故等に伴う迅速かつ的確な復旧・救急活動の実現を図るため、公衆電話、携帯電話等の連絡手段が利用できない場合や、当事者が負傷して緊急メッセージを通報出来ない場合に、事故発生地点の正確な位置や緊急メッセージを、車両等が自動的または手動により関係機関に通報する。					◎	○	○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
130	行政活動支援	緊急車両の最適経路による誘導	事故等の発生時に、迅速かつ的確な救助活動の実現を支援するため、渋滞や工事実施等による影響等の現在の道路交通状況を収集し、緊急車両を目的地に最適な経路で誘導する。						◎	
131	安全運転の支援	緊急車両を優先誘導するための信号管理	事故等の発生時に、緊急車両の迅速な移動を支援し、かつ安全性の向上を図るため、緊急車両が交差点に接近した場合、緊急車両が優先的にかつ安全に通行できるように適切に信号を制御する。	◎						○
132	安全運転の支援	一般車両への緊急車両接近の通報	事故等の発生時に、緊急車両（維持管理用含む）の迅速な移動を支援し安全性の向上を図るため、進路前方の車両のドライバに対し、緊急車両の接近情報を提供する。	◎						○
133	行政活動支援	緊急車両の運行管理	事故等の発生時に迅速かつ的確な救助活動等を支援するため、緊急車両の位置情報等を収集し、事故等の状況や緊急車両の現在位置に応じて適切な配車を行う。						◎	
134	緊急時対応	災害時の復旧・救援車両の走行支援	災害時の迅速かつ的確な復旧・救援活動を支援するため、復旧・救援車両の位置情報、道路の通行可否に係わる情報を収集し、被害状況や復旧・救援車両の現在位置に応じて適切な経路情報の提供を行う。					◎		○
135	緊急時対応	災害時の車両誘導	災害時に緊急交通車両の迅速化を図るため、災害時には一般車両が路側を走行するよう促す情報を車載機や情報提供装置等によりドライバが入手可能とする。					◎		○
136	緊急時対応	災害時の信号システムへのEV蓄電池の活用	災害時における信号システムの安定的な利用を図るため、災害により信号システムが停電した際に、EV等から信号システムに給電する。					◎		○

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
137	緊急時対応	道の駅・SA/PAの活用	道の駅やSA/PAを管理する施設管理者の災害時における備蓄品に関する有効活用を図るため、道の駅やSA/PAにおける備蓄品に関する情報を収集しておき共有する。					◎	○	
138	行政活動支援	緊急通報	事故に遭遇したドライバの救急機関への迅速な連絡を支援するため、車載センサ等により事故発生を検知した場合、救急機関に自動的に通報する。				○		◎	○
139	緊急時対応	車両を活用した災害時通信路確保	災害時に既存の通信インフラが障害を受けて、通信サービスが利用不可となった場合に対応するため、車両に通信インフラとしての機能を持たせる等の方法により、路車間通信、車々間通信を利用した災害時の通信路を構築することで、他のドライバや周辺住民に通信サービスを提供する。					◎	○	○
140	緊急時対応	帰宅困難者の帰宅支援サービス	災害時の帰宅困難者の帰宅を支援するため、サービス事業者等から歩行者ネットワークや関連POI情報を収集し、携帯端末等により自宅までの安全で効率的な経路を提供する。					◎	○	○
141	安全運転の支援	悪天候時の自動運転	悪天候や視程不良時の通行止めを極力避けるため、道路および車両の各種センサにより、道路構造や周辺環境、周辺車両の位置、走行速度、挙動等に関する情報を収集し、アクセル・ブレーキ操作などの速度制御、ハンドル制御等を行い、低速走行等による自動運転を行う。	◎	○					
142	快適性の向上	盗難車両等の発見・回収の支援	盗難車両等の発見・回収を支援するために、狭域通信等の情報通信技術を用いて、当該車両の現在位置を確認、追跡等を行う。					◎	○	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
143	緊急時対応	異常気象・災害情報の収集	異常気象や災害等により安全かつ円滑な道路走行環境が維持できない場合を適切に把握するため、各種センサ等を用いて雨、雪、霧、積雪、越波や土砂崩れ、道路陥没等の状況を把握するとともに、現場と関係機関等との間における円滑な情報交換を可能とする。	○	○			◎	○	
144	緊急時対応	通行規制の判断支援	安全かつ円滑な道路走行環境が維持できない場合を適切に判断し、通行規制を迅速に実施するため、通行規制の判断となる気象状況や災害状況等に関する情報や、迂回路設定等の判断に必要な情報を提供する。	○	○			◎	○	
145	行政活動支援	通行規制解除の判断支援	通行規制時間を最小化することで安全かつ円滑な道路走行環境を効率的に提供するため、通行規制解除の判断に必要な気象状況や災害状況等に関する情報を、関係者に迅速かつ適切に提供する。	○	○				◎	
146	快適性の向上	トラブル遭遇時の公共交通機関への乗り継ぎ情報の提供	車両の故障、病気等のトラブルに遭遇し旅行計画の変更を余儀なくされた移動中のドライバの利便性の向上を図るため、公共交通機関の現在の運行状況や満空などの利用可能情報、乗り換え地点から目的地までの所要時間の情報を、オンデマンド等に対応したナビゲーションシステムや情報提供装置により入手可能とする。		○		◎			

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
147	行政活動支援	走行可能経路情報の提供	通行を許可された特殊車両の臨機応変の経路選択を可能としつつ、道路構造を保全し、安全かつ円滑な道路走行環境を確保するため、特殊車両が通行可能な経路を含むネットワークとしての情報を提供する。また、特殊車両ドライバの適切な経路選択を支援するため、徐行の必要性などネットワーク上の各区間の走行条件を提供する。さらに、走行履歴を必要に応じて蓄積し、許可申請審査の参考データ等として提供する。	○	○				◎	
148	行政活動支援	危険物輸送車両の走行把握	危険物輸送車両が事故を起こした際の通行止めなど、道路障害の早期解消を図るため、危険物輸送車両の走行を把握し、必要な情報を蓄積するとともに、関係機関に情報を提供通報する。						◎	
149	行政活動支援	通行規制及び解除情報の提供	道路交通の安全確保を図るため、通行規制に係る前兆情報や通行規制を実施する場合の通行規制区間、規制内容、開放の見込み等の情報、さらには、通行規制解除の情報を、ドライバや輸送事業者に提供する。	○					◎	○
150	行政活動支援	迂回路情報の提供	道路交通の信頼性確保を図るため、通行規制を実施する場合に、通行規制に係る広報的なネットワークを考慮した迂回路を適切にドライバや輸送事業者提供する。		○				◎	○
151	行政活動支援	特殊車両管理	危険物等を積載した特殊車両の運行状況および重量を把握することで、申請外の経路を走行する違反車両等を抑制し、特殊車両の管理業務を効率化する。						◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
152	行政活動支援	プローブを用いた道路管理	道路管理者が一般車両から収集されるプローブデータを蓄積・分析することで、特定の場所で一定の挙動（落下物を避ける挙動等）を見せる車両が多い部分を抽出することで、パトロール車両の運行の効率化を図る。						◎	
153	行政活動支援	プローブを用いた交通管理	交通管理者が一般車両から収集されるプローブデータを蓄積・分析することで、信号あり交差点等における旅行速度を算出し、旅行速度が低い場合には、適切な信号現示時間の調整をする等を実施する。		○				◎	
154	行政活動支援	走行距離に応じた道路課金	道路管理者が有料道路または一般道路を走行する車両の走行距離・経路に応じた金銭を収受するため、車両の走行距離・経路を把握し、走行距離・経路に応じた金額を算出して自動的な決済を実施する。						◎	
155	行政活動支援	交通需要の情報収集	交通需要変化に応じた効率的な交通管理を支援するため、交通管理に関する各種情報や交通事故統計等に関わる情報（データベース）や、ODごと、各モードごとの交通需要をオンライン・オフラインで収集し、道路管理業務に利用する。		○				◎	
156	行政活動支援	交通規制計画の高度化	最適な交通規制計画を実現するため、交通情報データベースと交通環境データベース等（含むプローブデータ等）を活用し、実施した交通規制の効果を分析評価と、交通環境の変化を予測する。		○				◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
157	行政活動支援	事故対応の交通管理	大規模な交通事故や交通事故に起因する2次災害が発生した場合に、救急活動・事故復旧作業等の支援、事故に起因する交通渋滞の予防・早期解消等を図るために、交通事故の規模や発生場所等のデータベースを使用して、あらかじめ交通事故対応シミュレーション等を行い、これに基づく事前設定プログラムに従って、交通流の誘導・分散、臨時交通規制処理、広域・狭域通信等による情報提供等を総合的かつ連携して実施する。	○	○				◎	
158	行政活動支援	事故処理の高度化	管理者が、より迅速な事故発生現場周辺の交通流の回復を行うために、事故発生の情報提供や信号制御等により、交通整理を行う。		○				◎	
159	行政活動支援	災害時の交通管理	大規模な災害が発生した場合に、救急活動・災害復旧作業等の支援、救援資材輸送ルート確保、交通渋滞の予防・早期解消等を図るため、災害の規模や予想される被害のデータベースを使用して、あらかじめ災害時交通管理シミュレーション等を行い、これに基づく事前設定プログラムに従って、臨時交通規制処置、広域・狭域通信等による情報提供等を総合的かつ連携して実施する。		○			○	◎	
160	行政活動支援	異常気象対応の交通管理	地域または広域の異常気象により、交通に混乱が予想される場合に、交通渋滞の予防・早期解消等をはかるために、気象の状況・場所等を想定したデータベースを使用して異常気象対応シミュレーションを行い、これに基づき、臨時交通規制処置、広域・狭域通信等による情報提供等を総合的かつ連携して実施する。		○				◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
161	行政活動支援	事故分析の高度化	より効果的な事故抑止対策を立案するため、交通事故自動記録装置やインフラ側の情報収集記録（画像情報や狭域通信等）、及びドライビングレコーダにより、迅速かつ正確な事故発生状況を把握し、高度な事故分析を行う。	○					◎	
162	行政活動支援	道路使用許可業務等の高度化支援	交通の流れを阻害せず、安全でかつ環境を考慮した合理的な道路使用計画を策定するために、道路使用許可や制限外積載許可等の申請書に対して、各種の交通環境データベースを活用することにより、他の申請との重複確認や渋滞発生等の交通環境予測を充実するとともに、必要に応じて許可条件を付与する等、業務の高度化を図る。また、申請許可内容の遵守を確認するとともに、必要に応じて迅速な交通管理を実施するために、交通環境への影響が大きい道路使用許可等については、各種のデータベースや交通状況収集設備、狭域通信等を連携させることにより、当該道路の使用状況の監視を高度化し、道路使用状況把握を容易にする。	○	○	○			◎	
163	行政活動支援	違法駐車警告・指導	都市内における路上駐車秩序の維持のために、違法駐車車両・場所等の特定を自動化された方法で行い、警告・指導する。						◎	
164	行政活動支援	違法駐車対策の効率化支援	都市内における路上駐車秩序の維持のために、違法駐車に関するデータベース等を使用して常習車両の割り出し、効率的な車両移動業務企画の支援等を行う。						◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
165	行政活動支援	危険運転の抑止・検知・警告	危険な運転（速度違反や信号無視等）を行うドライバーに対して、事故の発生を抑止するために、センシング技術や狭域通信等を用いて危険運転を検知し、信号制御・路側装置・車載装置等を連携させて警告を行う。	○					◎	
166	行政活動支援	中央線変更制御	道路を有効に使うために、上り下りの交通需要に適合するように中央線を変更させるとともに、安全性の確保のために車線別通行可否を標識・狭域通信等を通じて提供する。	○	○				◎	
167	行政活動支援	動的バスレーン制御	バス等の運行の定時性を確保するために、運行遅れ程度と交通需要を勘案し、動的にバス専用レーンを設定するとともに、一般車へ標識・狭域通信等を通じて提供する。		○				◎	○
168	行政活動支援	動的一方通行制御	一方通行規制の実施道路で安全かつ効率的に道路を活用するために、狭域通信等を利用して各車両毎のOD、車種を把握し、道路走行条件を基に一方通行を解除したり、通行方向を逆にしたりする。	○	○				◎	
169	行政活動支援	動的一方通行制御情報の提供	一方通行規制の実施道路で安全かつ効率的に道路を活用するために、狭域通信等を利用して、各車両に動的一方通行規制情報を伝達する。	○	○				◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
170	行政活動支援	異常交通時の交通管理	突発事象や予定イベント等による急速な交通需要の増加等の事象に際して、交通渋滞の予防や早期解消をはかるために、あらかじめこれらを想定した関連データベース等を使用して現実の事象を入力するシミュレーション等を行い、これに基づき臨時交通規制処置、広域・狭域通信等による情報提供等を総合的かつ連携して実施する。なお、特に予定イベントについては、ドライバの自発的な協力体制を得るため、事象の発生以前から各メディアを通じた綿密な広報活動を行う。		○				◎	
171	行政活動支援	道路構造物に関する情報の提供	道路構造に関する情報を行政や学術研究、民間の企業活動等において活用し、安全かつ円滑な道路走行環境を効果的に実現するため、道路線形、付属施設の位置等の道路構造物に関する情報を統一的に収集・蓄積し、必要に応じ適切に提供する。	○	○				◎	○
172	行政活動支援	路面状況等の把握	路面状況を適切に把握し、道路構造の保全と安全かつ円滑な道路走行環境を効率的に実現するため、道路及び車両の各種センサ等により路面の摩耗・段差・ポットホールや落下物、凍結状況等の情報を収集する。	○	○				◎	
173	行政活動支援	道路管理作業用車両の運行支援	雪氷対策作業等を計画的に実施し、安全かつ円滑な道路走行環境を効率的に維持するため、現場の状況や作業車両の現在位置を的確に把握し、道路管理作業用車両への適切な指示等を行う。	○	○				◎	

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
174	行政活動支援	交通調査の支援	正確な道路交通情報を安価に収集し安全かつ円滑な道路走行環境を計画的に実現するため、各種センサや車載器を活用して、都市計画、道路整備計画等の基礎データとして、時間帯別・車種別の交通量、旅行速度、OD等の情報を収集する。また、収集したデータを行政や学術研究、民間の企業活動等に広く活用できるようにするため、統一的に蓄積する。	○	○				◎	○
175	行政活動支援	走行する高速道路に関する連続的な情報提供	既存インフラサービス利用者の拡大と新規サービスの導入のため、車載器とモバイル端末との連携により、ETCやITSスポット等を含めた最適なインフラからの情報を利用して走行路線の特定や位置情報の取得を行い、渋滞区間や近隣パーキングエリアなど特定された路線向けの情報の提供を行う。		○		◎		○	
176	経済活動支援	公共交通の運行状況情報の提供	公共交通の輸送事業者の運行管理の効率化を図るため、バスやタクシーの位置情報、旅行速度等の運行状況に関する情報を収集し、必要に応じ適切に輸送事業者を提供する。							◎
177	経済活動支援	高速バス利用者情報の提供	高速バスの定時性・迅速性を確保し、輸送事業者の運営の効率化を図るため、バス停でのバス利用者の有無を検知し、高速バスのドライバや輸送事業者に情報を提供する。				○			◎
178	経済活動支援	道路交通情報等の提供	トラックの輸送事業者の的確な運行管理の支援や輸送効率の向上を図るため、道路ネットワーク全体に関する交通渋滞、通行規制等の情報を収集し、必要に応じ適切に輸送事業者を提供する。							◎

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
179	経済活動支援	運行状況情報の提供	トラックの輸送事業者の運行管理の効率化を支援するため、運行中のトラックの位置情報、旅行速度等の運行状況に関する情報を収集し、必要に応じ適切に輸送事業者へ提供する。							◎
180	経済活動支援	緊急事態発生情報の提供	トラックの輸送事業者の輸送の的確性と安全性の向上を図るため、事故、運転手の身体異常、車両異常が発生した場合、車両から自動的もしくは手動により、異常の内容、発生位置、発生位置までの最短経路等の必要な情報を輸送事業者へ提供する。	○						◎
181	経済活動支援	貨物輸送情報の提供	トラックの輸送事業者の的確な貨物管理を支援するとともに、貨物の集配や積み替え業務効率の向上を図るため、輸送の各行程における貨物情報を収集し、必要に応じ、貨物の現在位置情報、集荷情報、配達情報等の情報を輸送事業者へ提供する。							◎
182	経済活動支援	他機関の運行状況情報等の提供	物流全体の輸送効率の向上を図るため、国際コンテナ船、フェリー、鉄道、航空等の運行状況等の情報を収集し、必要に応じ適切に輸送事業者へ提供する。							◎
183	経済活動支援	トラック・バスの連続自動運転実施	トラック・バスの輸送事業者の輸送効率の向上による輸送コスト低減を図るため、自動走行機能等を持った複数のトラック等が適切な車間距離を保ちながら連続走行を行う。							◎
184	経済活動支援	専用レーンでのトラック・バスの自動運転実施	輸送効率の飛躍的な向上、業務交通量の低減、輸送の安全性向上を図るため、物流拠点間等に必要に応じ専用レーンのネットワークを整備し、トラック・バスの連続自動運転を実施する。	○	○					◎

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
185	経済活動支援	輸送システム評価	物流車両から走行履歴や挙動履歴を収集・蓄積し、分析することで、輸送システム全体でのコストや環境負荷状況等を評価し、輸送システムの改善・効率化する。			○				◎
186	経済活動支援	効率的でシームレスな国際物流システム	効率的でシームレスな物流のため、各種交通モードを適切に活用した物流システムを構築する。							◎
187	経済活動支援	ドライブスルー業務の効率化	サービス時間の短縮のため、店舗外にてカーナビゲーションを利用して注文を事前登録し、店舗内の入口進入時にお勧めメニューなどの広告を無線通信にて配信、オーダー注文口にて、事前登録されている注文を確認し、決済ブースにてクレジットカードによるキャッシュレス決済する。				○			◎
188	経済活動支援	バス・軌道への優先信号の提示	公共交通の輸送効率の向上や安全で円滑な運行管理を支援するため、バスや路面電車の交差点への接近を感知し、必要に応じて優先的に通行できるよう信号の制御を実施する。	○	○				○	◎
189	経済活動支援	公共交通車両の監視と接近情報の提供	公共交通の輸送効率の向上と安全で円滑な運行管理を支援するため、専用車線を利用する公共交通車両の運行状況を把握し、公共交通車両の接近を一般車両に案内する。	○	○					◎
190	経済活動支援	公共交通車両専用車線への進入警告	公共交通の輸送効率の向上と安全で円滑な運行管理を支援するため、公共交通以外の車両が専用車線に侵入した場合の注意や警告を実施する。	○	○					◎

No.	大項目	サービス名称	サービス定義(案)	大項目整理						
				安全運転の支援	交通流の円滑化	環境の改善	快適性の向上	緊急時対応	行政活動支援	経済活動支援
191	経済活動支援	公共交通の緊急事態発生情報の提供	公共交通の輸送事業者の輸送の的確性と安全性の向上を図るため、事故、運転手の身体異常、車両異常が発生した場合、車両から自動的もしくは手動により、異常の内容、発生位置、発生位置までの最短経路等の必要な情報を輸送事業者へ提供する。	○						◎
192	経済活動支援	バス乗客に対する路線別沿線情報の提供	利便性向上によるバス利用者数の拡大および環境の改善のため、バスの乗客に対して、その車両の目的地や沿線に関する交通や観光等の情報をタイムリーに提供する。			○	○			◎
193	経済活動支援	車両内での自動車保険決済	自動車保険への加入を効率化するため、車載機等に車両の諸元情報、走行履歴を登録。これら情報をもとに自動車保険会社が保険プランを作成し、ドライバが車載機により自動車保険を購入可能とする。				○			◎
194	経済活動支援	駐車場の空きマスへの案内	駐車場の利用の最適化を図るため、高速道路上のSA/PA、道の駅、およびロードサイドの大規模店舗の附置義務駐車場等の空きマス位置を各施設の管理者より収集し、ドライバが駐車場の空きマス位置を車載機や情報提供装置により入手可能とする。				◎		○	○
195	経済活動支援	充電料金課金	EV ユーザの充電料金の決済の効率化や充電施設管理者の収受コストの低減を図るため、無線通信あるいは充電プラグ等を介した有線通信により、充電料金の自動的な決済を可能とする。			○	○			◎
196	経済活動支援	道路交通情報等の提供	公共交通の輸送事業者の的確な運行管理の支援や輸送効率の向上を図るため、道路ネットワーク全体に関する交通渋滞、通行規制等の情報を収集し、必要に応じ適切に輸送事業者へ提供する。		○				○	◎